

マンモグラフィ装置 清掃・消毒ガイド

「取扱説明書 (2B304-504JA*M) 」第8章 より、抜粋。

8.1 装置の点検

装置の使用後は、次回の使用に備えてCアーム角度を 0 度にして次の点検を行ってください。

- 1 ケーブルなどの点検
- 2 装置の清掃および消毒
- 3 整理整頓・翌日の準備
- 4 付属品の点検

8.2 清掃

装置のご使用後は、装置本体を清掃してください。

⚠ 警告

1. 装置に消毒剤や洗剤または水をかけたり、噴霧したりしないでください。装置の内部に入ると、故障や事故の原因になります。
2. 床に、水や洗剤などの液体をまかないでください。装置に液体がかかったり、ケーブル配線溝に液体が入ったりすると、故障や事故の原因となります。
3. 圧迫板やフェースガード、ブッキー装置、拡大撮影用アダプタの清掃には除菌ノンアルコールタイプのウェットティッシュを使用してください。アルコール成分を含むものは使用しないでください。劣化を早め、破損、変形、変色等の原因となります。

注意

- 取り扱いにはいねいに
- (a) ぶつけたり、強い衝撃を与えたりしないでください。カバーの変形・破損や、装置の誤動作・故障の原因になります。
 - (b) スイッチ類やモニタを強く押したり、こすったりしないでください。キズが付いたり、誤動作や故障をしたりする原因となります。
 - (c) 装置の清掃にベンジンやシンナなどは使用しないでください。破損、変形、変色等の原因になります。
 - (d) コンパウンドなど研磨剤を含む物を、装置の清掃に使用しないでください。拭いた部分が白く曇ったり、キズが付いたりすることがあります。

1

清掃方法

中性洗剤を付けた布巾で、汚れを拭き取ってください。

- ・ 中性洗剤の使用方法は中性洗剤の取扱説明書に従ってください。
- ・ 布巾は、洗剤が垂れないように固く絞ってご使用ください。
- ・ 汚れを拭き取った後、乾いた布巾で乾拭きしてください。

圧迫板やフェースガード、ブッキー装置、拡大撮影用アダプタの清掃には除菌ノンアルコールタイプのウェットティッシュを使用してください。

FPD 入力面やブッキー装置内部のグリッドの清掃には毛羽立ちのない不織布や綿布で軽く払う程度にして、強くこすったり、キズを付けたりしないようにしてください。

8.3 消毒

血液が付着したときなど、消毒が必要な場合は、適切に消毒してください。

装置の消毒は、消毒の専門知識を有する方の指示に従って、必要に応じて行ってください。

⚠ 警告

1. 装置の電源を切った後で消毒してください。使用する消毒剤は消毒用エタノールを推奨します。使用する消毒剤の取扱説明書で、使用上の注意および消毒剤の特性を十分に確認の上、使用してください。
ただし、圧迫板やフェースガード、ブッキー装置、拡大撮影用アダプタ、FPD入力面、グリッドに対して消毒は行わないでください。劣化を早め、破損、変形、変色等の原因となります。
2. ニードルガイドアダプタの圧迫板およびマンモトームアダプタ（オプション品）の消毒については、次の消毒剤を使用してください。使用する消毒剤の取扱説明書で、使用上の注意および消毒剤の特性を十分に確認の上使用してください。
 - (a) グルタルアルデヒド …………… サイデックスプラス®28
(ジ・ヨソソ・イント・ジ・ヨソソ(株))
 - (b) オルトフタルアルデヒド …… ディスオーパ™ (ジ・ヨソソ・イント・ジ・ヨソソ(株))
3. 感染防止のため、以下の内容をお守りください。
 - ・ 穿刺術後にはニードルガイドアダプタの圧迫板およびマンモトームアダプタ（オプション品）を必ず消毒してください。ニードルガイドアダプタの圧迫板、マンモトームアダプタが感染源になるおそれがあります。
 - ・ 消毒を行う場合は、滅菌済みの保護手袋を着用してください。
 - ・ 保護手袋は、消毒ごとに交換してください。
 - ・ 消毒後は、滅菌水または脱イオン水で十分に洗浄し、滅菌済みの布やガーゼで水を拭き取り乾燥させてください。残留した消毒薬液は人体に有害です。
 - ・ 薬品の有効性については、それぞれの薬品の説明書に記載されている基準（有効期限、使用回数、変色、有効性テストキットを使用した結果など）に基づいて判断してください。
4. 次のような消毒剤を使用しないでください。装置に損傷の原因になります。消毒により損傷した装置は、性能および安全性を保証できません。
 - (a) 塩素系消毒剤など金属やゴムに対して強い腐食性を持つ消毒剤
 - (b) 消毒剤の取扱説明書に、金属・プラスチック・ゴムおよび塗装のうち1つでも、使用が不適と注意書きのある消毒剤
 - (c) ホルマリンガスやスプレータイプのように、装置の内部に入り込むおそれのある消毒剤
5. 消毒後は、室内を十分換気してから、電源を入れてください。
室内に引火性のガスが残留していると、電源を入れたときに、火災や爆発を起こすおそれがあります。

注意

1. 圧迫板をはじめとする本装置付属品およびオプション品は、消毒時を含め装置の保管環境条件から外れた環境にさらさないでください。破損、変形、変色等の原因となります。
2. 製品の消毒は必要最小限にするように心がけてください。また、消毒後は消毒剤を十分に拭き取ってください。消毒剤の影響により、外装に退色やひび割れが起こる場合や、ゴムやプラスチックが劣化する場合があります。消毒により製品に変化が表れた場合は、直ちに製品の使用を中止し、最寄りのサービスセンタに修理を依頼してください。

1 消毒剤

使用する消毒剤は消毒用エタノールを推奨します。使用する消毒剤の取扱説明書で、使用上の注意および消毒剤の特性を十分に確認の上、使用してください。

オプション品のニードルガイドアダプタの圧迫板、マンモトームアダプタ、ラテラルホルダの消毒については、下記の消毒剤を使用してください。使用する消毒剤の取扱説明書で、使用上の注意および消毒剤の特性を十分に確認の上使用してください。

- ・ グルタルアルデヒド …………… サイデックスプラス[®]28
(ジ・ヨンソン・イント・ジ・ヨンソン(株))
- ・ オルトフタルアルデヒド …………… ディスオーパ[™] (ジ・ヨンソン・イント・ジ・ヨンソン(株))

2 消毒方法

【装置本体】

装置の電源を切った後で消毒してください。

感染防止のため、滅菌済みの保護手袋を着用してください。

消毒剤を含ませ軽く絞った布巾で、装置の表面を拭いてください。

このとき、装置内部に消毒剤が入らないように注意してください。ただし、圧迫板やフェースガード、ブッキー装置、拡大撮影用アダプタ、FPD 入力面、グリッドに対して消毒は行わないでください。劣化を早め、破損、変形、変色などの原因となります。

【ニードルガイドアダプタの圧迫板、マンモトームアダプタ（オプション品）】
 【ラテラルホルダ（オプション品）】

※ニードルガイドアダプタの乳房支持台、ニードルガイドユニットについては、
 上記【装置本体】の記載内容に従ってください。

<1> 感染防止のため、滅菌済みの保護手袋を着用してください。

<2> 消毒前に下表の薬品で洗浄をしてください。

洗浄剤の詳しい取り扱いや洗浄方法については、薬品の説明書を参照してください。

薬品名	酵素洗浄剤
商品名	サイデザイム TM
販売元	ジ・ヨソソ・イント・ジ・ヨソソ(株)
濃度（希釈率）	0.8W/V%（125 倍）
時間	浸漬時間 1 分
温度	室温
湿度	常湿
圧力	常圧

<3> 下表に示した消毒剤を使用して消毒します。

消毒剤の詳しい取り扱いや消毒方法については、薬品の説明書を参照してください。

薬品名	グルタルアルデヒド	オルトフタルアルデヒド
商品名	サイテックスプラス [®] 28 3.5%液	デイスオーハ TM
販売元	ジ・ヨソソ・イント・ジ・ヨソソ(株)	ジ・ヨソソ・イント・ジ・ヨソソ(株)
濃度（希釈率）	3.5W/V%（実用液）	0.55W/V%（実用液）
時間	浸漬時間 1 時間	浸漬時間 12 分
温度	室温	室温
湿度	常湿	常湿
圧力	常圧	常圧

<4> 消毒後は、残留した薬液を滅菌水または脱イオン水を用いて除去してください。使用した滅菌水、脱イオン水は再使用しないでください。

<5> 滅菌済みの布やガーゼで表面の水を拭き取り、十分乾燥させます。

<6> 薬液の残留物が十分に除去されたことを確認してください。

薬品の有効性については、それぞれの薬品の説明書に記載されている基準（有効期限、使用回数、変色、有効性テストキットを使用した結果など）に基づいて判断してください。

8.4 滅菌

この装置を滅菌処理することはできません。